

平成16年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号)	提案機関名	西湘地区行政センター農政部
88		
※記入不要		
要望問題 大苗育苗時の効率的かつ省力的な管理方法について		
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】		
<p><背景> みかん産業の活性化のために、品種構成の見直しやかんきつ周年供給体制の確立などが叫ばれている。それを具体化するために改植等を積極的に推進しており、未収益期間の短縮のため大苗育苗システムの確立を目指している。その様な中でより効率的かつ省力的に問題となりそうな管理方法等について検討をお願いしたい。</p> <p><内容> ・ 苗を食害する害虫の効果的防除について ・ マルチドリップ方式の活用について</p> <p><対象地域> 管内全域</p>		
解決希望年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内	
研究対応区分	①研究所対応 ②委託研究 ③共同研究 ④その他	
対応を希望する研究機関名	①農業総合研究所（②根府川試験場 ③三浦試験場 ④津久井試験場） ⑤畜産研究所 ⑥水産総合研究所（⑦内水面試験場 ⑧相模湾試験場） ⑨自然環境保全センター	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	農業総合研究所
部 署	根府川試験場
対応区分	①実施 ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 <input checked="" type="checkbox"/> ⑥現地対応 ⑦実施不可
試験研究課題名 (①、②、④の場合)	ミカン及びキウイフルーツの高品質・安定生産技術の確立 カンキツの大苗育苗システムの確立実証試験（項目化）
対応の内容等	<p>カンキツの育苗方法については、すでに様々な知見があり、またそれに伴って多くの資材も販売されています。これらの組合せについては、課題化する必要性は低いと考えられますが、共同での大苗育苗を実行される地域やグループを対象にする場合ならば、育苗の簡易施設化、液肥等の利用、省力的な害虫防除方法などを組み合わせた現地を主とする実証組み立て試験を行う必要性が生じると考えられます。</p> <p>現地生産者、普及指導機関等との連携の中に試験課題を位置付けるならば、本試験を実施する意義がいつそう明確になると考えます。</p>
解決予定年限	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内
備 考	